みなみあいづ

議会だより

第74号

令和6年11月13日

ハンドベル隊が本番に向けて練習中

Ｐ　２～　３　令和５年度一般会計決算・決算審査の報告
Ｐ　４～　９　第３回定例会　議案審議など
Ｐ１０～２１　一般質問・町政を問う
Ｐ２２～２３　議員研修会・期成同盟会の活動報告など
Ｐ２４　はばたけ！南会津の子どもたち

→ 24ページで紹介

写真 ©2024　放課後子ども教室げんき山

令和５年度の決算を認定

令和５年度 一般会計決算

歳入総額
１３５億６，９６４万２千円
歳出総額
１３１億２，６７１万２千円

町の家計簿 - 親からの仕送りが頼り

自分の収入（表中収入の○）は 288 万円で、生活に必要なお金（支出）が 1,144 万円（支出総額から表中支出△を除いた額）、親からの仕送り 927 万円（主に国からのお金）が頼りです。

１０００分の１にして
家計簿に置き換えてみると・・・

― 収　入 ―

		（前年度との対比額）
親からの仕送り【地方交付税・国県支出金など】	927万円	（－ 24万円）
○給　料【町税】	164万円	（＋４万円）
○パート収入【負担金・使用料・手数料など】	11万円	（０万円）
○不動産収入【財産収入】	４万円	（０万円）
○その他の収入・貯金引出【寄附金・繰入金・繰越金・諸収入】	109万円	（＋４万円）
金融機関からの借り入れ【町債】	141万円	（＋ 34万円）
１年間の収入合計	1,356万円	（＋ 18万円）

貯金残高は　719 万円（＋21 万円）

― 支　出 ―

		（前年度との対比額）
食　費【人件費】	203万円	（＋２万円）
水道光熱費・日用品の購入【物件費・補助費など】	448万円	（＋15万円）
養育費・医療費など【扶助費】	107万円	（＋７万円）
車の修理代など【維持補修費】	50万円	（－ 14万円）
子どもへの仕送り【他会計への繰出金】	80万円	（＋２万円）
貯　金【積立金】	51万円	（＋10万円）
被害箇所の修理【災害復旧事業費】	３万円	（－７万円）
家屋の増改築など【普通建設事業費】	202万円	（＋８万円）
△生命保険など【投資・出資・貸付金】	２万円	（０万円）
△借金の返済【公債費】	166万円	（－３万円）
１年間の支出合計	1,312万円	（＋20万円）

借金の残高は　2,083 万円（－45 万円）

貯金残高および借金の残高には、特別会計を含んでいます。

令和５年度特別会計決算

（税込み、百円単位四捨五入）

会　計　名		歳　入	歳　出	差　引
国民健康保険特別会計		15億6,266万9千円	15億1,897万8千円	4,369万1千円
後期高齢者医療特別会計		2億4,469万9千円	2億4,055万5千円	414万4千円
介護保険特別会計		23億8,031万2千円	23億3,679万7千円	4,351万5千円
企業会計		**収　入**	**支　出**	**差　引**
水道事業会計	収益的収支	6億829万6千円	5億6,930万2千円	3,899万4千円
	資本的収支	3億7,036万6千円	5億5,034万7千円	−1億7,998万1千円
企業会計		**収　入**	**支　出**	**差　引**
下水道事業会計	収益的収支	3億9,783万9千円	4億8,303万5千円	−8,519万6千円
	資本的収支	3億3,402万4千円	3億4,452万5千円	−1,050万1千円

主な財政指数

項　目	令和５年度	令和４年度	解　説
財政力指数（３カ年平均）	0.234	0.231	町の仕事に必要な経費をどのくらい自力で賄えるかを表す数値で、「１」に近いほど財政力が高い。
標準財政規模	83億1,229万円	83億381万円	町の標準的仕事に必要な経費の額。
経常収支比率	87.4%	86.6%	町税や地方交付税などの収入が、経常的な支出（給与・借金返済など）にどのくらい使われたかを示す数値で、小さいほど自由に使えるお金が多い。
実質公債費比率（３カ年平均）	7.0%	6.8%	標準財政規模に対する借金返済の割合で、18%を超えると、新たに借金をするときに許可が必要になるなど制限が付く。
将来負担比率	18.9%	31.2%	将来負担しなければならない借金などが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを表す数値。

令和5年度各種税金・使用料等未納累計額

（千円単位四捨五入）

町税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	保育料	町営住宅使用料	公共下水道使用料など	水道使用料
1億6,457万円	1億416万円	448万円	1,252万円	107万円	1,353万円	1,325万円	6,248万円

決算審査の報告

渡部 寛 代表監査委員

審査に付された関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は誤りのないものであり、予算の執行及び財政運営状況は、適正なものと認められます。

町税等の収入未済額について、自主財源である町税等の未納が依然として発生している状況にあります。また、不納欠損処理額が大きく、特に消滅時効によるものが大きいので、その縮減に努めることが必要です。

滞納対策は、財源の確保はもとより、行政への信頼にも関わる問題であることを留意され、収納率の向上に努めていただく必要があります。

令和５年度の財政指標については、健全財政に向けた努力がみられますが、今後も人口減少や高齢化の進行等の社会情勢の変化、行政需要の多様化に対応するため、財政状況等をふまえながら継続した行政改革のさらなる推進が必要です。

今後とも町民の福祉向上のため、行財政改革を推進し、経費等の節減を図りながら、限られた財源の効率的配分と健全な財政運営に努めるとともに、自主財源である町税等の収納率向上に向け、不断の努力をされることを望みます。

※決算審査結果報告から抜粋したものを掲載

第３回定例会

令和６年９月12日～９月20日

全議案を可決しました

令和６年第３回定例会が開催され、提出された議案は20件で、全議案を可決しました。内訳は町から報告５件、諮問１件と議案14件でした。

（掲載の質問と答弁は抽出・要約したものです。）

会議と主な質疑

報告第８号

債権放棄の報告（公営住宅使用料）

楠正次 議員

町債権管理条例14条第１号の内容について、破産法および会社更生法に係る免責とありますが、本件はどちらの事由に該当したものか。

建設課長

平成６年２月15日に裁判所から破産事件の通知が届いたもので、破産法に該当します。

報告第９号

債権放棄の報告（奨学資金貸付金）

楠正次 議員

町債権管理条例14条第５号に該当とありますが、強制執行権の措置は行ったのか。

学校教育課長

平成29年８月に奨学金の償還猶予申請書が本人より提出され、強制執行は実施していません。連帯保証人は、両親でしたが双方亡くなっており新たな保証人の選任を指導しましたが、選任に至りませんでした。

報告第10号
債権放棄の報告（水道料金）

芳賀正義 議員
町債権管理条例14条第３号、第５号に該当とありますが、金額の区分は。

環境水道課長
３号に該当するものは１７０万６０９０円。５号に該当するものが48万３９５０円です。

内訳としては、３号に該当するもののうち２件が法人の休止によるもの、所在不明が17件、遠方の企業による費用倒れが１件です。５号については、相続人が不明、相続放棄のため強制執行できない状態が７件です。

報告第11号
債権放棄の報告（排水施設使用料）

楠正次 議員
債権放棄の件数は。

環境水道課長
２件です。これは相続放棄によるもので、強制執行しても徴収の見込みがないことによります。

議案第88号
令和５年度南会津町一般会計歳入歳出決算の認定

決算審査意見書の（２）町税等未納額について

湯田芳博 議員
不納欠損処理の内訳として執行停止によるものが大きく滞納者への対応が十分でない可能性があると推測されるとありますが、推測の内容は。

代表監査委員
令和５年度は、不納欠損額全体は大きく減額となりました。税務課を中心に、情報共有や学習会を開催するなどの意識向上をはかってきました。しかし、不能欠損処理された内訳として執行停止によるものが前年度比で増加していることから、滞納者への対応が十分でない可能性があります。

決算審査意見書の（３）町債について

湯田芳博 議員
早期健全化基準の25％を下回っているから財政の弾力性は保たれているとする根拠は。

総務課長
町が収入として得られる数値（標準財政規模）に対して令和５年度に返済した借金の額をパーセントで表し、国がこれを超えると危険な水域になると示している数値です。本町は３カ年の平均値で７・０％です。

湯田芳博 議員
財政の弾力性があるのであれば、実質公債費比率は上がるかもしれないが、住民生活の実態から手当てが必要であれば対応する考えは。

町長
限られた一般財源をどう振り分けるかは悩みどころです。全て応えることも現実的でありません。町民に寄り添った政策ができるよう予算編成に注意していきます。

決算審査意見書の（４）まとめ

湯田芳博 議員
「夢と希望と活動に満ちた南会津町の実現のために、職員は役割を認識し」とありますが、その役割の認識にずれがあるのか。

代表監査委員
職員の役割と認識を深めるために引用しました。

湯田芳博 議員
職員が自己啓発や人格形成の研修に参加する機会はあるか。

総務課長
自治研修センターでの研修が主になりますが、その他に個人から申し出がある部分についても予算を取っており、自己啓発の研修に入れています。

第３回定例会

総合政策課　人財育成に関する事業

古川晃議員　荒海中、南会津中で人財育成支援事業として「ＳＤＧｓカードゲーム」とありますが、これが導入されるようになった経緯と今後の予定は。

総合政策課長　ＳＤＧｓの理解を深めるため、以前は町職員を対象にカードゲームを行っていました。その際にもっと若い人にも経験してもらおうという意見が出され、令和４年度から中学生を対象に各校長先生に投げかけをし、希望があった学校について実施しています。令和６年度は小学校で行っています。

SDGs カードゲームで学ぶ児童たち

総合政策課　町有観光施設評価業務

古川晃議員　町では第三セクター経営評価委員会設置要綱があり、学識経験者、会計専門家などで委員会を組織して経営状況等の評価に関することを行うことになっていますが、この委員会が活動していない理由は。

町長　過去に第三セクターを含めて観光施設の評価を行ったことがあります。その評価に携わったのが経営評価委員会です。経営の状態について２回ほど町に対して提言が行われました。

今回は、外部の専門的組織に委託をかけて調査すべきという判断になりました。本来、役目を終えたのであれば、設置要綱を廃止する必要があったかと思います。

楠正次議員　評価結果において、令和８年３月で廃止あるいは売却と記載されていますが、それまでのプロセスはどのように進むのか。

総合政策課長　これは、町が中小企業診断協会に委託した評価であり、町の方針ではありません。現段階でどのようなプロセスで進めるかは答えられません。

総合政策課　ＤＸ推進事業

古川晃議員　ふくしまふるさとＣＭ大賞への応募作品制作に至る目的と経過は。さらに町民を巻き込んだ取組に発展させる考えは。

総合政策課長　若手職員の人材育成を目的に、地域の魅力再発見と発想力とコミュニケーション力を育成したいということで令和５年度から始まりました。今後、町民を巻き込んだ方向に進めたいと考えています。

ふくしまふるさと CM 大賞 2024 に
作品を応募しました

CM 大賞応募以外の作品は、
南会津町役場 Youtube
チャンネルで公開しています。

南会津町役場 YouTube チャンネル

南郷地域協議会（南郷支所）

古川晃議員

南郷地域協議会で南会津高校南郷校舎跡地利活用について協議がされています。現在は、南会津高校跡地利用住民検討委員会の活動が既に終了し、まとめを報告する段階と聞きましたがその内容は。

南郷総合支所長

住民検討委員会は２月に組織し、５回検討会を行ってきました。結果、跡地利用について意見の一本化には至らず、各委員の思いを町への提言ということでまとめています。

林産業人材育成支援事業（農林課）

渡部裕太議員

林産業人材育成支援事業について、この事業を行って担い手の確保や雇用の実績は。また、新規雇用者の離職率を下げるための職場環境改善のための補助は。

農林課長

この事業によって継続者が１名、新規に林産業関係に雇用された方が６名になっています。離職率を下げるための事業は、森林環境譲与税事業の中の労働安全衛生推進事業があり、安全防具の購入や機械操作の講習を支援するなど、安全衛生の確保の部分で対策を進めています。

国民健康保険（住民生活課）

楠正次議員

国民健康保険に加入している１人、２人世帯の方たちが多人数世帯と同額の平等割を納めることに不公平感を感じます。国保税の決め方を３方式から２方式にするべきと思うが。

住民生活課長

全国では、均等割と所得割の２方式の採用を検討している都道府県はあります。平成30年から国民健康保険の財政主体は各都道府県に移行されました。南会津町だけが２方式を採用することは難しいと思われます。福島県の国民健康保険の運営方針は、現在は３方式と位置付けられています。

楠正次議員

南会津町の国民健康保健事業の運営に関する協議会について、委員が12名とありますが、第１回は参加人数８人、第２回は９人となっています。重要な審議を行う協議会で欠席の割合が高いと思われるが。

住民生活課長

各委員は仕事を抱えながら参画していますので、特定の方の欠席率が高いということではありません。その協議会の開催時において、それぞれ仕事の都合やその他の都合で欠席しているという状況です。

楠正次議員

被保険者代表４人について、選任の方法または選任の基準は。

住民生活課長

基本的な選任の方法は、国民健康保険の被保険者であることが前提です。他は４地域から１名ずつということで地域性も考慮しています。その他、例えば、町で主催する会議に参画のある方であったり、地域づくりなどに積極的に参加している方であったり、その中から田島管内では本庁が、他の地域は各総合支所が適任者を選任しています。

農林課　森林環境譲与税事業

楠正次 議員　搬出間伐促進事業では、間伐されたものが搬出されて売買につながったというものか。

農林課長　町では山元への利益還元を大事に考えています。森林整備をした場合、極力搬出をしてお金に換えていくところまでを支援している事業なので、売り払いは事業者と区にやり取りを任せています。この事業主体は林業事業体になっており、その整備の支援を行っています。意向調査をして町が実施する森林整備のための事業ではありません。

楠正次 議員　森林環境譲与税が森林の境界確定のために予算が振り向けられることは。

農林課長　境界確定については、国・県で補助事業があります。事業主体が森林組合になり、一定程度の面積で合意が得られれば事業として取り組める仕組みになっています。

生涯学習課　公民館学級・講座の実施状況

丸山陽子 議員　パパママわくわく子育て教室が実施されているが、男性の参加がありません。対象者が「3歳までの子供を持つ母親」となぜ限定したのか。子育ては二人でするものなので父親も参加しやすい日程、設定が必要と考えるが。

生涯学習課長　基本的に子育てをしている母親を対象としていましたが、都合がつけば父親も参加できるようにこのような事業名にしました。

日程的なことも含めて来年度の事業に活かします。

丸山陽子 議員　舘岩小学校児童対象の「3感がっこう」について、その内容は。

生涯学習課長　夏休み中に地区の子どもたちを対象に実施している事業です。地域の方々が来ていろいろな体験や、学校の先生が宿題のサポートをしたり、プールも実施をしています。

丸山陽子 議員　婚活支援事業みなみ愛'S出逢いフェスタについて、6名の参加があり2組のカップルが誕生したとありますが、現在南会津町に住んでいるのか。

生涯学習課長　その後の状況については、個人的なこともあり実行委員会で把握できず、どこに住んでいるかまでは確認していません。

生涯学習課　図書館事業

丸山陽子 議員　お楽しみ袋企画で10冊程度の本が入った15袋を準備したとありますが、全て利用者に提供できたのか。

生涯学習課長　令和5年度に初めて実施した事業ですが、当日に全て希望する方に配布できました。

御蔵入交流館　図書館

学校教育課

教育用コンピュータ機器の導入

湯田哲 議員

コンピュータ機器のリース料、約1600万円は教室用コンピュータ311台分ということか。また、パソコンとタブレットでは違いがありますが、どちらで利用されているか。

学校教育課長

1655万4360円は311台分のリース料です。タブレットに取り外し可能なキーボードが付いているもので、パソコンとタブレットと共用できる仕組みのものです。

湯田哲 議員

タブレットの持ち帰りが始まったということですが、持ち帰り学習の状況は。

学校教育課長

一律に持ち帰りを進めているわけではありません。学校に登校できない子どもがいる場合、保護者からの申し出に基づいて、学校からタブレットの貸し出しを行っています。

湯田哲 議員

電子黒板の使用頻度と効果はどのように考えるか。

学校教育課長

すべての授業で使われている状況ではありませんが、電子黒板を使用している授業を見たところ、教員も操作に慣れていてタブレットに表示されたものを大きく映したり、電子黒板に記入したりと上手く利用していました。

議案第92号

令和5年度南会津町水道事業会計決算

環境水道課

水道に関する事項

楠正次 議員

舘岩地域の給水の状況について、一人あたり1日の平均使用量が他の地域と比較すると100ℓくらい多くなっている理由は。また、有収率が他の地域と比較して低い理由は。

環境水道課長

確かに極端に多い数値ですが、舘岩地域についてはアストリアホテルなどの観光施設があり、水の消費が多く、それを人口で割るので数値が大きくなると分析しています。また、有収率については上郷と岩下で漏水があり極端に低くなっています。なお、現在は復旧しています。

議案第93号

令和5年度南会津町下水道事業会計決算

環境水道課

経営指標に関する事項

渡部裕太 議員

経費回収率が令和3年度には95・43％だったものが令和4年度以降約24％下がった原因は。また、下水道料金の値上げを検討しているということですが、この回収率で下水道料金の値上げをすることは町民の理解が得られないと思うが。

環境水道課長

令和3年度は、人件費を下水道事業会計で見るべき人数を見ていなかったことがあり、本来の姿を把握するために令和4年度から下水道事業会計に、従事する職員の人件費を計上するようになったため回収率が落ちました。

滞納対策、徴収対策を強化し、過年度分の収納額も昨年より上がっており、収納率も上がっています。負担の公平性からも徴収はしっかり行い、その上で料金改定を考えています。

町政を問う 一般質問

11人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

① 渡部　訓正　議員・・・・11ページ
1．国道等整備促進期成同盟会の運動促進は
2．国道289号田島バイパスから御蔵入大橋の4車線化は
3．７つの行政圏の継続は

② 湯田　芳博　議員・・・・12ページ
1．圧雪車購入に関する入札執行の真実を導き出すための質問に対し、町当局の答弁は、不誠実かつ隠匿性が高い官制談合の疑いが
2．舘岩高齢者生活福祉センター高夕敷地内の「桜の木」の伐倒を行なった町職員の真意と住民対応姿勢は
3．南会津町荒海地区で実施される「農地整備事業」と持続可能な米作り農業の具体的な政策展開は
4．南会津地方環境衛生組合の統合で、国が目指す「地球温暖化防止」等の環境政策や循環経済を促進できるか

③ 丸山　陽子　議員・・・・13ページ
1．高齢者などへの粗大ごみ回収支援の体制づくり
2．帯状疱疹ワクチンの定期接種への対応は
3．「観光大使」を増やして町の活性化を図る考えは

④ 星　和孝　議員・・・・14ページ
1．教育資源を活用した教育活動とは
2．南会津町観光施設評価結果説明会の進捗は

⑤ 湯田　剛正　議員・・・・15ページ
1．びわのかげ野球場の照明をLEDへ検討は
2．横町地区から折橋地区へ行く交差点へのカーブミラー設置は
3．田部地区根岸沢の法面改修は

⑥ 古川　晃　議員・・・・16ページ
1．高校の魅力化と地域で支える体制の在り方は
2．（株）みなみあいづの経営に対する町の関わりは

⑦ 湯田　哲　議員・・・・17ページ
1．針生地区の民間による水力発電のための調査結果は
2．利用されず荒れた休耕田を連続地形の畑とし有効活用は
3．子供たちのそれぞれが読みたい本をプレゼントしては

⑧ 芳賀　正義　議員・・・・18ページ
1．町観光施設評価結果住民説明会後の方針
2．生活道路の整備計画
3．南会津町消防団機能別団員と婦人班の活動

⑨ 渡部　裕太　議員・・・・19ページ
1．企業誘致における町の支援体制は
2．Ｊ－クレジット制度導入に対する町の考えは
3．地域内公共交通の体制整備の現状は

⑩ 酒井　幸司　議員・・・・20ページ
1．災害の備えは
2．南郷地域の水源は

⑪ 楠　正次　議員・・・・21ページ
1．林業振興と森林経営管理制度
2．健康増進事業日程
3．３Ｄ教育プログラム

【一般質問とは】
町の行財政全般について議員が提言を含めて町に考えを聞くことです。
※一般質問は、スマートフォンなどで右のQRコード（町議会中継【YouTube】）を読み取りご覧ください。

南会津町議会中継【YouTube】

わたなべ　くにまさ
渡部　訓正　議員

南会津町議会中継【YouTube】

国道等整備促進の期成同盟会活動の強弱を

町長⇒それぞれの期成同盟会の強弱付けは困難

問 本町の道路整備は、まだまだ不十分です。

このため早期着工・完成に向け路線ごとに期成同盟会を結成し、整備促進を目指しています。

期成同盟会は10団体あるが、同盟会ごとに年度別の要望実現を計画するなど、活動に強弱を付けて取り組むことも必要では。

町長 期成同盟会は、その構成団体が同じ目標実現のため活動する組織です。それぞれの路線毎に整備促進を強く働きかけていくことが現実的です。

御蔵入大橋の4車線化は

町長⇒道路状況を見ながら検討する

問 国道289号田島バイパスから御蔵入大橋の4車線化は。

町長 福島県から「暫定2車線で整備しており、4車線化は道路の利用状況や他の道路の整備状況、財政状況などを勘案し検討していく考え」と聞いています。

問 国道289号と国道400号の交差部は直角交差ではなく、西側の延伸を行い、塩江林業研修センター周辺まで延長した上で、国道との接続を。

町長 塩江林業研修センター周辺までの延長についても、福島県から「道路の利用状況や他の道路の整備状況、財政状況などを総合的に勘案しながら、整備の必要性について検討していく考え」と聞いています。

7つの行政圏の継続は

町長⇒各地方振興局を中心に地域づくりが進められると認識

問 今後も7つの行政圏の継続を。

町長 県総合計画で、「地理的な条件や自然環境、歴史・文化など、それぞれの特性を生かし7つの地域区分により地域づくりが進められ、今後も、各地方振興局を中心に7つの地域に大別し、地域づくりを進めて行きます」と明記されており継続されると認識しています。

なお、将来にわたる継続に向け、郡内4町村と一致結束し取組を進めます。

御蔵入大橋の現状

直角交差ではなく延伸を

湯田（ゆだ） 芳博（よしひろ） 議員

南会津町議会中継【YouTube】

圧雪車に関する委員会の議事録開示は

町長⇒議会事務局から、文書として出せるか判断しかねるとの回答

問 圧雪車購入の調査を行なった総務委員会議事録に関しての町長答弁は、記録を確認しようとしない隠匿に満ちた言い訳と受け取らざるを得なく、議会事務局との結託を疑うことになりかねないが。

町長 議事録は「お見せすることは可能だが、議事録は総務委員長から議長に報告するもので、正式な文書として執行部の求めに応じて出せるものなのか判断しかねる」と議会事務局から回答されたので、提供を求めませんでした。

「高夕」敷地内の「桜の木」伐倒行為

町長⇒指摘された以後、改善を図る

問 「桜の木」を職員自ら伐倒し運搬する行為を見ていた町民が「公務員としての、あるべき姿か」と忠告した際の職員の取った対応姿勢は。

町長 町民の方からご指摘を頂いた以後は、真摯に受け止め対応について改善を図りながら進めていきます。

農地整備事業の着手に手抜かりは

町長⇒地区の十分な話し合いの上のこと

問 荒海地区で実施される農地整備事業の要望及び事業採択に当って、地区内の合意取り付けに手抜かりは。

町長 平成28年度に川島・関本・小塩・古今・糸沢の各地区から連盟で要望書が提出されたものを、町は十分な話し合いによる地区の総意と判断し着手したものです。

地球温暖化防止への環境政策は

町長⇒これまでの業務を継続する

問 南会津地方環境衛生組合の統合で、国が目指す「地球温暖化防止」などの環境政策が促進できるか。

町長 管理者会の協議結果、下郷町長さらには只見町長の見解として「三町の合意のもとに行なわれているごみ処理の取り扱いには何ら問題なく、これまでの業務を継続して遂行するのが本旨」としています。

環境衛生組合

まるやま　ようこ
丸山　陽子　議員

南会津町議会中継【YouTube】

高齢者などへの粗大ごみ回収支援の体制づくり

町長⇓必要性の有無も含めて調査・研究の対象に

問　粗大ごみ回収支援について検討した経緯は。

町長　令和5年第3回議会定例会後、具体的な検討には至っていません。

問　地区ごとなど体制を作るための補助をしては。

町長　現時点で体制を整備することは考えていません。

今後、必要性の有無も含めて調査・研究の対象としていきたいと考えています。

帯状疱疹ワクチンの定期接種への対応は

町長⇓国の動向を見ながら対応していく

問　正式に通知はきていますか。また、町民への周知方法は。

町長　正式な通知はありませんが、国の規定に則り実施したいと考えています。

問　町として、何歳からの接種が望ましいと考えていますか。

町長　今後の国の動向を見ながら必要に応じて対応します。

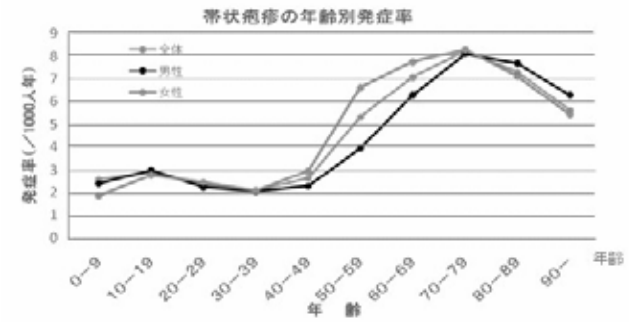

図1．年齢群別宮崎県の人口、帯状疱疹患者数と発症率
（1997年から2011年の平均）

出典：国立感染症研究所ホームページ（https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-sp/2256-related-articles/related-articles-404/4014-dj4048.html）の図1（https://www.niid.go.jp/niid/images/iasr/34/404/graph/df40481.gif）の一部を抜粋して掲載

「観光大使」を増やして町の活性化を図る考えは

町長⇓親しまれ愛されるキャラクターが適任

問　南会津町の「観光大使」は個人を含め何人・何団体ありますか。

「観光応援隊」と「観光大使」との違いは。すべて、「観光大使」にしては。

町長　現時点での観光大使は「んだべぇ」1人です。

観光大使は、町の魅力を広く発信することを目的とし、それらを主な業務としています。観光応援隊は、その団体の活動にあわせて、二次的に町のPR活動を行っていることが違いです。

観光大使は、町の知名度やイメージ向上につながる重要な存在です。町民に親しまれ、愛されるキャラクターが適任と考えており、観光応援隊とは目的が異なっています。

星（ほし） 和孝（かずたか） 議員

南会津町議会中継【YouTube】

観光施設評価結果説明会後の進捗は

町長⇒拙速に判断せず丁寧な説明に努める

問 方針決定まで半年以上も要するのはなぜか。

町長 令和7年6月全員協議会などで、町の最終方針案を報告し、令和7年の夏ごろから、令和8年度からの新たな指定管理者の公募を開始したいと考えています。町としてしっかり調査・分析をしなければならないため、相応の時間を要すると考えています。

問 住民に寄り添った考えには思えないが。

町長 議会にも報告・相談しながら進めていくほか、地域住民や関係団体などとの話し合いを重ねながら進めるべき事項です。最終的な方針決定まで、約半年以上を要します。

観光施設評価結果住民説明会の様子
（田島地域）

観光施設評価結果住民説明会の様子
（舘岩地域）

教育資源を活用した教育活動とは

教育長⇒郷土愛の醸成に努めている

問 具体的にどのような活動ですか。

教育長 教育資源とは児童生徒が学習に用いることができる資源であり、「人的資源」「物的資源」「文化的資源」に分けることができます。総合的な学習の時間で活動を行っていることが多く、田島小学校の「子供歌舞伎体験」、荒海小学校の「藍染め体験」、舘岩小学校、舘岩中学校の「ゴルフ教室」などが挙げられます。

問 基幹産業である農業・林業の体験学習を教育指針として推進しては。

教育長 町教育大綱では、「町を愛し、協働の心を持った思いやりのある人を育みます」という目標があり、農業や林業の体験学習も含まれると考えています。

町内小中学校では、町森林環境交付金事業補助金を活用し、各学校独自の森林環境学習を実施しているほか、田島第二小学校や伊南小学校では「米づくり」、舘岩小学校や南郷小学校では「キノコ栽培」など、農業や林業と関わりのある体験学習も行っています。

湯田（ゆだ） 剛正（たけまさ） 議員

南会津町議会中継【YouTube】

びわのかげ野球場の照明LEDへの検討は

教育長⇓公園内施設整備計画の中で検討

問 LEDへの交換の考えは。

教育長 今後の照明設備の整備には長期的な省エネルギー効果やメンテナンスコストの削減から、LED化は有効と考えています。

問 今後、ナイター使用を継続するのか。

教育長 ナイター設備を備えた野球場は、町民のスポーツ振興や健康作りの推進、町外からの合宿での利用による活性化など、引き続き必要な施設として継続する考えでいます。

横町地区から折橋地区へ行く交差点へのカーブミラー設置は

町長⇓地区からの要望により設置を検討

問 北下原5号線の危険性を考慮したカーブミラーの設置を。

町長 当線は見通しも悪い上、幅員も狭く、高低差もあり、危険性が高い箇所として認識しています。道路構造上の問題として、冬場だけでなく、通年の通行止めを視野に入れながら、近隣の道路網の状況を踏まえ、本路線の管理を行いたいと考えます。カーブミラーについては、地区からの要望により、現状にあった設置を検討します。

交差点の様子

田部地区根岸沢の法面改修は

町長⇓改修にむけて検討を進める

問 田部地区根岸沢は土石流危険渓流となっています。現在20mの区間がコンクリートになっていません。災害が心配ですが、改修の考えは。

町長 田部地区からの要望を踏まえ、水路の嵩上げや合流部の改修を実施していますが、今回の箇所については、現状を把握し、今後財源を含め、改修に向けた検討を進めます。

山法面の様子

ふるかわ　あきら
古川　晃　議員

南会津町議会中継【YouTube】

高校魅力化と地域で支える体制

教育長⇓町内外から進学者増のため力を入れてきた

問 町が行ってきた高校魅力化事業は。

教育長 学習活動支援、異文化体験や英語レッスンを含む宿泊学習を実施しました。また、経済的理由で進学が難しい生徒のため、地元回帰を促進する奨学金事業を実施しています。

問 子どもが「行きたい」、保護者が「行かせたい」と思える高校のために町が行う応援は。

教育長 通学や部活動など、支援していく考えです。また、中高一貫教育に関する協議会に参加しています。講演会や中学生の高校授業体験、高校教員の出前講座において、移動手段や場所の提供など協力しています。

問 県立特別支援学校新設を機会に、インクルーシブ教育推進の考えは。

教育長 支援学校の地域支援センターの役割を活用して町教育支援委員会の充実を図り、切れ目ない支援体制を構築するとともに、共生社会実現のため交流学習や共同学習などに努めていきます。

㈱みなみあいづに対する町の関わり

町長⇓株主として経営陣の活動や会社の業績を監視

問 第三セクターに関わる行政、会社の役割と責任は。

町長 施設の目的や在り方、指定管理委託方法などについて、方針を示すことが施設設置者の役割と責任と考えます。㈱みなみあいづは、町から受託した施設について効率的かつ健全に経営する役割と責任があると考えます。

問 町観光施設評価業務報告書で提言された、㈱みなみあいづの課題と組織の在り方について、改善を促す考えは。

町長 提言内容の実現性を見極めながら、改善を促し監視していく考えです。必要に応じて、経営方針の見直しや取締役の交代なども求めたいと考えています。

観光施設評価結果住民説明会の様子
（伊南地域）

観光施設評価結果住民説明会の様子
（南郷地域）

町有観光施設評価結果報告書について
町民の意見はこちら

湯田（ゆだ） 哲（さとし） 議員

南会津町議会中継【YouTube】

針生地区での水力発電の調査結果は

町長⇒ 令和7年5月頃まで調査し、その結果により判断する

問 民間による針生地区の水力発電所への調査が開始し1年が経過しました。その調査結果は。

町長 現在も、「株式会社グリーン電力エンジニアリング」により河川の流量調査が実施されており、令和7年5月頃まで調査し、その結果を分析したうえで発電事業を実施するか判断するとのことです。

休耕田を連続地形の畑で有効活用を

町長⇒ 地域の理解を得ながら進めていく

問 昭和時代に基盤整備された水田が、荒れた状態で本町各地にあります。畦畔・水田、畦畔・水田を繰り返す階段状地形を、連続した緩やかな農地、畑として有効活用する考えは。

町長 緩やかな畑にすれば、牧草や果樹の栽培には有効な手段ですが、現在その考えはありません。遊休農地を含めた地域農地の有効活用には、農地所有者の意向や耕作を担う方、さらには地区の意向を確認した上で、関係機関とも丁寧に調整し、地域の理解を得ながら進めていきます。

荒れた状態の休耕田

子供たちへ読みたい本のプレゼントを

教育長⇒ 子供たちが読書に親しめる事業に取り組んでいく

問 大人になっても本に触れる習慣の人は、子供時代に出会った一冊の「好きな本」「忘れられない本」があるといいます。そこで小学4年生以上の児童生徒、一人ひとりに今知りたい、読みたい本をプレゼントしては。

教育長 本のプレゼントの考えはありませんが、赤ちゃんとその保護者に絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」や「2歳児への読み聞かせ事業」、小学校では、朝の「読書タイム」や図書ボランティアによる「読み聞かせ」、中学校では「ビブリオバトル」などを実施しています。引き続き、各学校などと連携し子供たちが読書に親しむことができるよう取り組んでいきます。

区分	利用者	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学生	実利用者	223名	197名	191名
	図書貸出延べ人数	1,091名	911名	899名
中学生	実利用者	35名	36名	47名
	図書貸出延べ人数	95名	107名	152名

御蔵入交流館内・図書館の児童生徒の利用状況

芳賀（はが） 正義（まさよし） 議員

南会津町議会中継【YouTube】

町観光施設評価結果 住民説明会後の方針は

町長⇓各施設の状況を集約・整理して方針を示す

問 廃止、継続、民間移管の細かなデータを示しては。

町長 引き続き必要なデータを集約・整理し示していきます。

問 黒字化の転換期間・猶予期間が短く、各施設の指定期間延長が必要では。

町長 南郷スキー場を例として、誘客促進や経営力強化の取り組みにより、次年度以降施設の存続と、指定管理期間の延期運用もひとつの方法と考えます。

問 施設の廃止、維持、民間移管での雇用計画は。

町長 雇用は重要事項で、統廃合と指定管理者変更でも、従業員の雇用が守れるよう指定管理者と協議していきます。

生活道路の整備計画は

町長⇓引き続き計画的に事業執行に努める

問 申請制度による、行政区からの要望件数と各評価ランク数、予算執行は。

町長 要望地区数、要望箇所数、評価区分、その他は次（表1）のとおりです。

予算は継続事業を含めて約6900万円を計上しています。

問 再度の申請は認められず、以降申請された要望の管理をどうするか。

町長 要望があった地区は、現状の評価を伝え、今後は評価結果や災害時の危険性、財源確保を含めて計画的に事業執行に努めます。

	要望地区数	要望箇所数	評価区分（優先度）		その他（国県要望）
件数	51	142	高ランク	6	22
			中ランク	38	
			低ランク	76	
			計	120	

（表1）地区からの要望件数と町評価区分

町消防団機能別団員と女性班の支援は

町長⇓※機能別団員の強化と女性班の団員数増加に努める

問 町消防団機能別団員の団員数と配置場所、活動状況は。

町長 機能別団員数は次（表2）のとおりです。訓練は、所属部の協力で初期消火、後方支援の操作訓練を行っています。

問 女性班の増員と事業活動で魅力創出を。

町長 令和5年度に新設され、現在班長以下6名が活躍しています。

今後は、体制充実のため団員数の増加に努め、引き続き広い視点から地域防災を考えていきます。

	田島地域	舘岩地域	伊南地域	南郷地域
総員　97名	50名	10名	20名	17名

（表2）南会津町機能別団員数（令和6年4月1日現在）

用語

※「機能別団員」とは

能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員のこと。

渡部（わたなべ）　裕太（ゆうた）　議員

南会津町議会中継【YouTube】

企業誘致における町の支援体制は

町長⇒より強固な活動体制の構築が必要

問 現在、本町での企業活動に関心を示している企業からの問い合わせ状況は。

また、今後そのような企業への町の対応は。

町長 現在、企業2社から問い合わせがあり、町内における事業計画などについて、それぞれ説明を聞いている状況です。町として、企業立地促進奨励金制度をはじめとした各種事業者支援制度により、町内進出が円滑に行えるよう側面から支援するとともに、企業活動に際して課題や問題などがある場合は、助言や関係機関への相談の取次ぎなどを行いながら、企業に寄り添った誘致を進めていきます。

Jークレジット制度導入の考えは

町長⇒効果が期待できる有効な取組であると認識

問 ※Jークレジットに対する町の考えは。

町長 クレジット取引により、町内外企業への温室効果ガスの排出抑制に寄与できるだけでなく、新たな財源確保が期待できること、また、地球温暖化対策のPR効果も期待できることから、有効な取組であると認識しています。

用語

※「Jークレジット」とは

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

出典：Jークレジット制度ホームページ（https://japancredit.go.jp/）

地域内公共交通の体制整備の現状は

町長⇒伊南地域で「自家用有償旅客運送」を実施

問 地域公共交通の体制整備の状況は。

町長 伊南地域の交通空白地の解消に向けて運行形態を、町が運行主体とする「自家用有償旅客運送」とし、利用者の事前予約によるデマンド型で運行します。町として、運行に関する予約と運行の業務を担うことで、地域住民の移動手段の確保に努めていきます。

路線バス再編について

問 10月から尾瀬方面へのバスの発着が会津高原尾瀬口から会津田島駅へ変更となることが発表されているが、その影響は。

町長 檜枝岐線の経路変更による影響としては、これまで路線バスを利用して、舘岩地域の内外へ移動していた方々の利便性の低下や、会津高原尾瀬口駅の利用者の減少により、「会津高原 憩の家」の売り上げの減少が想定されます。

酒井（さかい）　幸司（こうし）　議員

南会津町議会中継【YouTube】

災害時の備えは

町長⇒物資を平時から備えておくことが重要

問 備蓄品は数量的に昨年と同じか。

町長 備蓄品は昨年も購入しています。なお消費期限を考慮してローリングストック方式により管理しています。

地域	飲料水（ℓ）	保存食（食）	期間
田島	1600	1600	前期
	2060	1750	今期
舘岩	240	400	前期
	240	500	今期
伊南	96	250	前期
	240	500	今期
南郷	140	280	前期
	140	480	今期

飲料水・保存食　比較表

問 本町の備蓄品は足りているか。

町長 備蓄品については、住民や自主防衛組織、事業所などが「自らの命は自らで守る。自らの地域はみんなで守る。」という自助、共助の考え方を基本にしています。「災害時における物資供給に関する協定」を締結している事業所からの物資供給もあり、有事の際にも十分に対応できると考えています。

問 備蓄品の格納場所をハザードマップに表示は可能か。

町長 ハザードマップには、地図面が煩雑になることから記載は考えていませんが、表示の必要性については今後検討します。

南郷地域の水源は

町長⇒新規の水源調査の予定はない

問 新規の水源調査もしくは廃止した水源の見直しと現状の調査を実施する予定は。

町長 南郷地域に限らず新規の水源調査の予定はありません。また廃止した水源についても、地蔵沢水源からの排水流量で十分供給出来ていることから、水源の見直し現状調査の予定はありません。

問 地蔵沢水源に不具合が生じた時の対策は。

町長 現在施設管理システムにより配水池水位から流入状況についても常時監視を行っており、異常は確認されておりません。なお、不具合が生じた時の対策については、日々の監視の中で早期に発見し、原因の追及を行うことで対策を講じられるよう努めていきます。

地蔵沢水源

楠（くすのき）　正次（まさつぐ）　議員

南会津町議会中継【YouTube】

所有者不明、境界不明の森林整備は

町長⇒一定の手続きを経て町が管理できる

問 私有林所有者が「立木を売りたい」「林業事業者が買いたい」と双方の意思が整っても境界不明のため契約できなかったと聞くが実態は。

町長 所在不明などで現地確認が困難という声は聞いていますが、境界が不明確のため立木売買が行えないという声は、町に届いていません。

問 境界不明・所有者不明の森林を町は受託出来ますか。

町長 一定の手続きを経て町が経営管理できます。

乳がん検診日程短縮の理由は

町長⇒検査方法が変更になったため

問 過去3年間の受診者数と受診率は。

町長 別表のとおりです。

地域名	年度	対象者数	受診者数	受診率
舘岩	令和３年度	679人	63人	9.3%
	令和４年度	645人	69人	10.7%
	令和５年度	627人	67人	10.7%
伊南	令和３年度	595人	65人	10.9%
	令和４年度	566人	71人	12.5%
	令和５年度	561人	63人	11.2%
南郷	令和３年度	931人	137人	14.7%
	令和４年度	890人	130人	14.6%
	令和５年度	857人	129人	15.1%

過去３年間の受診者数と受診率

問 舘岩地域の検診日程が一日のみとなった背景および理由は。

町長 令和5年度から検査方法が変わり、一日の検査可能人数が増加したので舘岩地域の検診日程を半日減としました。

人間力アップに3D教育プログラムを

教育長⇒グローバル社会に適した教育プログラムの一つ

問 3D教育プログラムは生徒に夢を与え（出来る）、夢に向かわせる（大丈夫）、夢を実現させる（大成功）のコンセプトで実施されるエゴグラム教育で、生徒は4月に50問のマークシートチェックを行い、エゴグラム診断が行われ、生徒一人ひとりの診断データをもとに改善方法が個別に示され、半年後に再度チェックを行い、変化を分析するという手法です。本町の生徒たちがグローバル社会で生きる・必要とされる人間力アップに取り組む考えは。

教育長 生徒の夢を実現させるため、特に生徒の長所を伸ばし自己肯定感を高めることはグローバル社会に対応した人材育成に適した教育プログラムの一つと感じています。

同一生徒が6年間継続的に取り組むことで、より効果が表れ3D教育プログラムの真価が発揮できるのではないかと感じています。まずは、各学校の先生方の意見を聞きたいと考えています。

町議会議員研修会（議会運営委員会）

令和6年9月3日（火）午前
議員のためのハラスメント防止研修会を開催

全国各地において議員および首長などの「パワハラ」「セクハラ」問題が報道されています。町議会議員としてもモラル向上とハラスメントに対する理解を深めるために、動画視聴の議員研修会を実施しました。

研修内容

①議員に求められるコンプライアンス
②公務員に高い倫理観が求められる理由
③コンプライアンスは法令遵守ではなく本来の意味は使命、責任に忠実であること
④公務員に特化したハラスメント防止対策が必要
⑤公務員のパワハラの定義

所感

ハラスメント防止研修を受講し、改めて「パワーハラスメント」という問題が、他人ごとではないことを痛感しました。ハラスメントに対する正しい認識を持つことが重要で、未然に防止できることや指導とパワハラの違いなどを理解するためには、ハラスメントの種類や定義を学び明確な違いを理解すべきと考えます。

政治倫理条例とは別にハラスメント防止条例を策定の動きが加速しています。本町議会も本件に対し積極的議論が必要と考えます。

令和6年9月3日（火）午後
牧瀬稔（まきせみのる）ゼミ受講生とZOOM※を使用して意見交換

南会津町議会はZOOMを使用したオンライン研修を行いました。本来は2日から2日間にわたって、牧瀬稔氏（関東学院大学教授）と牧瀬ゼミ受講生が来町し、交流を図りながら研修を深める予定でしたが、台風10号の接近により来町が中止され、3日の午後に日程を短縮しオンラインで意見交換を行うことになったものです。

牧瀬ゼミナールの受講生は、大テーマ「DX活用による南会津町の地域創生の実現」に基づき3グループに分かれてそれぞれ課題を設定して研究を進めています。今回は、初めに牧瀬稔氏からDXに関する話題提供があり、次に3グループから研究過程の中間報告を受け、その後、議員と意見交換が行われました。

牧瀬稔氏から※DXに関する話題提供

DXに係る用語の説明のほか、DX条例制定の現状と意義について、さらにDX推進自治体の先進事例などを紹介していただきました。

3グループの中間報告

①議会活動におけるDXの活用事例、②地域創生におけるDXの活用事例、③DX条例の整理とパターン化の3つテーマで中間報告を受けました。

所見

南会津町議会はDX化研修として、7月10日にZOOMによるリモート会議を体験したばかりで、早速体験を活かしてスムーズな意見交換が行われました。

DX化にかかるコストやペーパーレス化による経費削減効果など具体的な事項を学ぶことが多かった一方、南会津町の実態に即した質問や意見が議員から出されました。牧瀬ゼミでは今回の意見交換をもとにさらに研究を深め、2月頃には最終報告を行うために来町し、再び交流を行う予定です。

用語

※「DX」とは
デジタルトランスフォーメーションの略でデジタル化の推進によって住民福祉の向上をはかること。

※「ZOOM」とは
インターネット上で会議を実現するためのサービスのひとつ。

ZOOMでの意見交換

今回は、「国道２８９号線建設期成同盟会」と「会津縦貫道整備促進期成同盟会」の活動について報告します。

国道２８９号線建設期成同盟会

国道２８９号線建設期成同盟会は、国道２８９号沿線自治体で構成され、新潟県新潟市から福島県只見町、南会津町、下郷町、いわき市までの総延長２７６・７㎞を結ぶ道路の建設を目的に結成されています。南会津町にとっても、只見町から「八十里越」を経由しての三条市との交流は長年の悲願でした。この「八十里越」道路は、**令和８年秋から令和９年夏には暫定供用開始の予定**となっています。今そのための工事が福島県側と新潟県側で進められています。議会では去る７月３日に現地調査を行い、その後で三条市議会を訪問し交流を深めました。

福島県側の工事進捗状況の説明をする南会津建設事務所佐藤敬所長

新潟県側の工事進捗状況の説明をする国土交通省職員

会津縦貫道整備促進期成同盟会

会津縦貫道整備促進期成同盟会では、喜多方市から会津若松市までの「会津縦貫北道路」と会津若松市から南会津町までの「会津縦貫南道路」の、２路線の整備促進を図るために活動をしています。南会津町が関係する「会津縦貫南道路」は、今年の３月３日に供用が開始された国道１１８号小沼崎バイパスから始まり、田島地域までの区間について、現在工事を行っています。長野地区では県道高陟田島線を跨ぐ橋梁の下部工が完成しています。当期成同盟会では、会津若松市長を先頭に、関係市町村の首長、議会議長が国、県、国会議員に対して、何度も整備促進に向けての要請活動を行ってきています。現在は下郷町工区の湯野上バイパスが国直轄権限代行事業（国が直接工事を行う事業）として、下郷田島バイパスが福島県事業として工事が進められています。

国土交通省吉岡幹夫技監に要望する関係市町村の首長

財務省進藤金日子財務大臣政務官に要望する関係市町村の議長

議会を傍聴してみませんか

議場ではどんな発言があるのか
どんな町づくりを考えているのか直接聞くことができます

今回の定例会中の
傍聴者は合計 36 名でした。
YouTube ライブ配信視聴者は合計 227 名でした。

○議会を傍聴する手続きは簡単です。
本庁３階の議場傍聴席入り口で氏名と住所を書くだけです。

○会議の様子は、You Tube でもご覧いただけます。
※スマートフォンをお持ちの方は、右記の QR コード読み取りから直接リンクにアクセスし視聴できます。

南会津町議会中継【YouTube】

次回は１２月１３日（金）開会予定

【発行責任者】
南会津町議会議長　山内　政
【編集】議会広報委員会
委員長　室井　英雄
副委員長　渡部　裕太
委員　酒井　幸司
芳賀　正義
古川　晃
川島　進

はばたけ！
南会津の子どもたち

南郷地区の放課後子ども教室「げんき山」

一年を通して低学年から高学年、学年を超えた幅広い体験活動を行っています。令和6年度は、子ども39名スタッフ11名で行っています。

活動は田植え、稲刈り、ジャガイモ、サツマイモ栽培、調理体験、豊年まつり出店、文化祭ハンドベル演奏等を行っております。今回は、文化祭に向けてのハンドベル演奏を取り上げました。そこで、リーダーの小山紗奈（こやますずな）さんにお話を聞きました。

調理体験　笹巻

サツマイモ収穫

田植え実習

Q 参加の動機は。

小山さん 先輩の演奏を聴いて興味を持ったのと、6年生4人最後の良い思い出になればと思い参加しました。

Q やってみての感想は。

小山さん 皆でやっていて中々合わなくて難しかったけど、上手く出来た時はとてもうれしかったです。

演奏が綺麗にそろったときは超感激しました。それと、南郷地区の人たちに聞いてもらって少しでも元気になってもらえたら嬉しいです！

Q 今思っていることは。

小山さん 私たち6年生は、抜けてしまいますが、次に続く人達にもハンドベルの楽しさや、上手くいったときの感動を味わってもらいたいので絶対私達の後に続いて欲しいです。

ハンドベル隊リーダー
小山（こやま）　紗奈（すずな）さん

練習の様子

楽譜でしっかり確認

放課後子ども教室げんき山
コーディネーター　中山（なかやま）　美華（みか）さん

ハンドベル隊の活動は、みんなで協力する心や目標に向かって頑張る力を育て、達成感を味わうことができる良い活動だと思っています。南郷地域文化祭で発表することで、子ども達と地域の方の交流も図られ、子ども達が南郷の良さを感じることのできる良い機会にもなっています。

放課後子ども教室げんき山では、他にも自然体験・農業体験を取り入れた様々な活動を行っています。子ども達に南郷の良さを感じてもらいたいのと同時に、「げんき山の活動を通じて南郷地域を元気にしたい！」ということを子ども達との共通目標として、今後も楽しく活動していきたいと考えています。

ハンドベル隊のみなさん

写真 ©2024　放課後子ども教室げんき山

【発行】福島県南会津町議会　【編集】議会広報委員会　【印刷】馬場印刷所
〒 967-0004　福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1　TEL：0241-62-6310　FAX：0241-62-1288
【ホームページ】https://www.town.minamiaizu.lg.jp/official/choseijoho/minamiaizumachigikai/index.html